

甲州民家の歴史と魅力を知る講演会と見学会



長い間人々の暮らしを支えて来た住まい。それを我々は民家と呼んでいます。豊かな森林資源に恵まれた我国ではその土地の木で、その土地の職人によって造られてきました。出来上がった民家は人々の暮らしの上に、その土地の気候風土が重なり合って独特の姿になりました。大正から昭和初期、このままでは日本の伝統的住文化が残る民家が消え去っていくことに危惧をもった人々が全国各地を調査して、それを「民家図集」という書名で発刊しましたがその中で山梨県は最初に登場しています。それだけ本県の民家は特徴的であったからです。そして紹介された 25 件の中で 9 件が東山梨郡、現在の甲州市の民家です。それらの写真を眺めると当時の民家の姿と人々の暮らしが鮮やかによみがえってきます。しかもその中に今でも残っている民家があることも分かりました。

この講座では甲州の民家の歴史をたどり、その形や間取りの特徴を一緒に探って行きたいと思います。座学の後には民家ツアーに出かけましょう。きっとあなたも私のように甲州民家の虜になるはずです。(大沢匠)

■ 日程

第 1 回 (座学) 2026 年 5 月 25 日 (月) 13:00~15:00 集合場所: ロボット・プログラミング教室
甲州市塩山下於曾 1386-1 (塩山バイパス小僧寿し向かい)

第 2 回 (見学) 2026 年 6 月 22 日 (月) 9:30~11:30 集合場所: ロボット・プログラミング教室
山梨市三富の”雷集落”と峡東スタイル”元養蚕農家”を見学

■ 参加費用: 各回一人 1000 円 (現地にて現金でお支払いください)。

■ 申し込み: 「甲州環境市民会議」のメンバーの皆さんは、有賀さんに連絡してください。

その他の方はスタッフの松前 (toshiakimatsumae@gmail.com)、あるいは講師の大沢 (mail@o-sekkei.net) まで直接申し込んでください。定員 20 名

■ 後援: 日本民家再生協会 ”山梨民家の会” <https://minka.or.jp/>

”日本民家再生協会 (JMRA) “は 1987 年に創設された設計土工務店はもとより、プロから古民家好きの素人を含む全国 800 名の会員を有する NPO 団体です。伝統工法、大工の腕の見せ所が満載した”古民家“を一棟でも多く次世代に残すべく民家フォーラムやワークショップ、イベント、刊行誌の”民家“を通じて全国で活動をしています。甲州地域でも 2022 年勝沼ブドウの丘で”甲州民家フォーラム“を開催。県知事をはじめ、県議や市議、一般 150 名が参加しました。以来、峡東地域で首都圏、地元からも多くの人が古民家を取得、再生再活用を行なうようになりました。”山梨民家の会“は協会の構成部会になります。

講師について: 大沢匠は 1987 年の”日本民家再生協会”創設立ち上げメンバーの一級建築士、民家再生相談員。日本の古民家再生再活用分野で草分け的存在。古民家はもとより関東中部地方を中心に数々の伝統工法による建築物再生と再活用の設計を手掛けてきました。鎌倉に秋田の酒蔵を移築再生した建物で設計事務所を営む傍ら、山梨市住民として自ら築 150 年にもなる元養蚕農家の再生に携わる。